

学校図書館にある本から、おすすめの本を紹介します。

●見ているだけで楽しい本

『かんたん手づくり防災グッズ』木原 実【監修】/日本図書センター 2022

「新聞紙とダンボール板のスリッパ」「ゴミ袋のレインポンチョ」「ツナ缶のランプ」など、災害のときに役立つ防災グッズの作り方について学べます。

『ネコもよう図鑑 色や柄がちがうのはニャンで?』浅羽 宏【著】/化学同人 2019

かわいいネコの写真を見ながら、その遺伝のしくみがわかるサイエンス図鑑。

『古典がおいしい!平安時代のスイーツ』前川 佳代, 宍戸 香美【著】/かもがわ出版 2021

読むだけでなく、登場する食べ物をつくり、再現! より古典の世界を感じることができます。

●悩みを解決する本

『子どものためのソーシャルスキルブック』藤枝 静暁【監修】/少年写真新聞社 2022

学校生活でよくあるシーンを例に”人付き合いのコツ”をわかりやすく解説した本。

『古典を読んだら、悩みが消えた。』安田 登【著】/大和書房 2022

『古事記』や『平家物語』、和歌や『論語』……今に役立つ古典の読み方がわかります。

『モヤモヤそうだんクリニック』池谷 裕二【文】、ヨシタケ シンスケ【絵】/NHK出版 2020

256名の小学生から寄せられた「なぜ?」「どうして?」に、“科学”と“ユーモア”で向き合った一冊。

●読み物

『羊と鋼の森』宮下奈都【著】/文芸春秋 2015

ピアノの調律に魅せられた一人の青年が、調律師として、人として成長する姿を描く。

『そらとうみとぐうちゃんと きみたちのぼうけん』椎名 誠【作】、沢野 ひとし【絵】/光村図書出版 2021

国語教科書で出会った椎名誠さんによる物語が単行本に。懐かしいお話も。

『お探し物は図書室まで』青山 美智子【著】/ポプラ社 2020

ふとしたきっかけで街の小さな図書室を訪れた5人を通して”生きる”を感じる一冊。